

ビデオ 通信

2023年
7月13日(木)
No.4682

月・木曜日発行
月額：¥11,000(税込：¥11,880)
発行：飯澤 剛
編集：齋藤 浩一

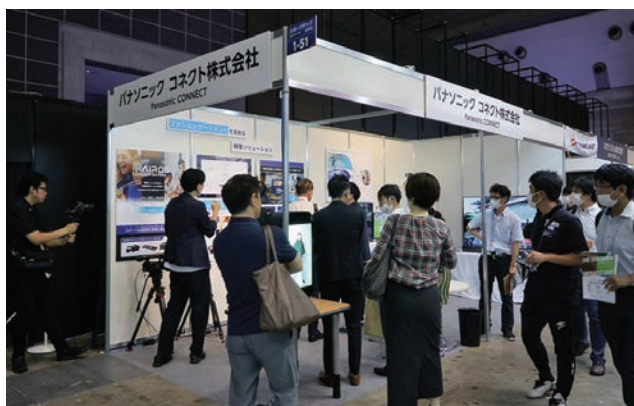
ユニ通信社

〒114-0024
東京都北区西ヶ原 3-57-17-202
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

パナソニック コネクト／パナソニック映像

「JAPAN SPORTS WEEK」に出展

「KAIROS クラウドサービス」を核とした映像制作のトータルソリューションを提案



大盛況だった JAPAN SPORTS WEEK のパナソニック コネクトブース

パナソニック映像(株)は、このほど開催された「JAPAN SPORTS WEEK 2023」のパナソニック コネクト(株)ブースの企画・運用を担当した。パナソニック コネクトは、ネットワーク回線を活用した中継のリモートプロダクションを軸とした映像制作のトータルソリューションで、選手の活躍、コンテンツオーナーの想い、ファンの言葉を届けるサポートを行っている。今回の「JAPAN SPORTS

WEEK 2023」パナソニック コネクトブースでは、パナソニックブランドとスポーツとの親和性や長く深い関わりを訴求するとともに、「KAIROS クラウドサービス」を核とした、①“ファンエンゲージメント”を高める「映像制作サポート」②映像の自由度と効率性を両立させたライブ配信システム等による「映像ソリューション」に関する技術や実績、取り組み—について、実機によるデモンストレーションを交えながら詳細に紹介した。パナソニック映像では〈イベントへの出展は昨年に続くものだが、昨年以上に KAIROS の認知度が高まっていることを実感した〉としており、ブース也大盛況だった。

「映像制作のトータルサポート」と「映像ソリューション」を訴求

今回、パナソニック コネクトが「JAPAN SPORTS WEEK」に出展した狙いについて、パナソニック映像 マーケティング・プロデュースグループ プロデューサーの高橋大悟氏は〈今回、自治体や官公庁、スポーツ団体の運営を、「KAIROS クラウドサービス」を活用したソリューションでサポートしていきたいといった想いから出展しました〉と説明する。

今回のパナソニック コネクトブースで最も強く訴求したポイントは、大きく「映像制作のトータルサポート」と「映像ソリューション」の2つ。

高橋氏は〈当社が様々なスポーツ団体の映像コンテンツを制作していく中で、今、最も必要とさ



ファンエンゲージメントを高める映像ソリューションを訴求

ることができる。それと同じように、例えば大会前からアスリートの紹介映像や競技ルールの説明、カウントダウンなどを提供し、ユーザーの興味関心を引いてファンになってもらい、大会に向けてファンの期待感をどんどん盛り上げていく。大会中もライブ配信と並行して SNS 投稿と連動したコミュニケーションにより、SNS からの新規ファンの獲得とともに満足度をアップさせる。終了後には振り返り映像や優勝者のコンテンツなど後追いコンテンツを制作し、“推し”選手を作ってもらような取り組みも必要となってくる。〈KAIROS クラウドサービスは、様々な映像メディアやフォーマットとの親和性が高く、こうした様々な映像を用いた施策にも柔軟かつ効率的に対応することができます。また、パナソニックの強みでもあるグループ力を駆使したトータルサポートも訴求していきたい〉と高橋氏。

KAIROS を用いた映像制作サービスの豊富な実績とノウハウ

これらのサービスを実現する核となるのが「KAIROS クラウドサービス」。自由度の高い映像制作を可能にした IT/IP プラットフォーム「KAIROS」をクラウド化し、様々なアプリケーションと連携することで「撮る・創る・映す」ワークフロー全体をシームレスにつなぎ、いつでもどこでも手軽に使えるサービスとなっている。

パナソニック映像では、パナソニック関連のイベント等で KAIROS を活用したライブ配信を数多く手がけており、スポーツ領域でもその技術力とノウハウを活かしていくという。

ラクロスを題材に KAIROS クラウドサービスのデモ

「JAPAN SPORTS WEEK」のブースでは、ラクロスの試合を題材に、KAIROS クラウドサービスのシステムや実機を用いたデモンストレーションを実施。試合会場の 4 カメ + iPhone で撮影した素材を KAIROS クラウドサービスでコントロールし、スイッチングやテロップ出しなどを解説した。

また、現場のカメラ映像と AR をリアルタイムに合成する「AR 広告」のデモも行った(写真→)。AR 広告は面白さと驚きも与えられ、スポンサーのロゴ表示にも使えるので、マネタイズの 1 つのアイデアだという。

さらに、通常のビデオスイッチャー卓だけでなく、「KAIROS CREATEOR」を装備したノートパソコンによるスイッチングなども披露した。

れているのは、単なる中継やライブ配信だけではなく、新規ファン獲得や定着、競技人口の拡大など“ファンエンゲージメント”を高めることだとわかり、その課題解決に向けた、“映像プロデューサー”による「映像制作サポート」を提供していきます。具体的には、大会を開く前からしっかりとした準備をしていくことが重要です」とする。

テレビ番組や映画でも「予告編」や「番宣」といったティザーがあることで視聴率や鑑賞者を増



円内の気球が AR 広告

企画面も含めたトータルプロデュースを提案

「KAIROS クラウドサービス」による映像制作サービスについて、高橋氏は〈KAIROS の認知度がアップしてきていることを実感しています。昨今、日本でもリモートプロダクションが普及し、オンラインによるライブ配信サービスが様々なカタチで提案されている中で、パナソニック映像は単なる技術会社ではなく、パナソニック コネクトと連携を取りながら、ブランディング面のノウハウも含めたトータルパッケージとして提案できることを訴求していきます。これまで積み重ねてきた豊富な実績とノウハウに裏打ちされた映像のプロデュース／制作で差別化を図っていきます〉とする。

また、今後の方向性について〈短期的／長期的なスパンによるアプローチがあると考えています。今はスポーツやイベント系などを中心として、配信も含めて展開していこうと考えています。



高橋大悟氏

KAIROS はそのイベントに合わせてオンプレミスとクラウドを使い分けることができ、「何をどうやりたいのか」にベストマッチした提案ができるのではないかと思います。まずは「ファンエンゲージメントを一緒に作っていきませんか」といった提案ですが、理想的には「スタートの段階から一緒に作り上げてきませんか」と、企画面も含めたトータルプロデュースとして提案できるようにしていきたい〉と話している。

◇パナソニック映像 <https://group.connect.panasonic.com/pvi/>